

# 組織学

担当指導医師

●本学

教授：齋野 朝幸

准教授：成田 啓之

学修方針（実習概要等）：

医師は、人体の正常構造とその機能を深く理解したうえで、病態を正確に把握し診療を行うことが求められる。とりわけ組織学は、細胞・組織レベルでの形態と機能の関連を理解する基盤であり、病理学・臨床医学を理解するうえで不可欠である。

本実習では、組織学的観察・解析の理論と実践を通じて、正常組織構築の理解を深化させるとともに、研究的視点および教育的視点を養う。あわせて、スチューデント・ドクターとして組織学研究や教育活動に主体的に参画し、将来の医学研究・教育を担う基礎的素養を身につけることを目的とする。。

教育成果（アウトカム）：

本実習を通じて、以下の能力を身につけることができる。

- 光学顕微鏡およびデジタル画像を用いて、主要な人体組織・臓器の組織学的特徴を説明できる
- 組織構造と機能、ならびに臨床・病理との関連性を論理的に説明できる
- 組織学的研究における基本的手法を理解し、教員の指導のもとで研究活動に参画できる
- 初学者に対して、組織学的概念や標本の見方を分かりやすく指導できる態度と技能を身につける

（ディプロマ・ポリシー：1, 2, 4, 6）

到達目標（SBOs）：

1. 組織学実習における標本作製過程（固定・包埋・切片作製・染色）の概要を説明できる。
2. 各種基本染色および特殊染色の原理を理解し、観察結果を適切に解釈できる。
3. 主要臓器・組織の正常組織像を説明し、機能との関連を述べるができる。
4. 正常組織像と病理組織像の相違点を概説できる。
5. 教員の指導のもと、組織学研究（画像解析、文献検討等）に参画できる。
6. 必要に応じて、教員と協力し下級生の組織学実習・演習の指導を行うことができる。

実習内容：

1. 光学顕微鏡およびバーチャルスライドを用いた正常組織の観察と記載
2. 各種染色法（HE染色、特殊染色等）の原理と観察実習
3. 臓器別組織構築の理解（上皮、結合組織、筋組織、神経組織など）
4. 組織学的所見と機能・臨床所見との関連性の検討
5. 組織学研究の基礎（画像解析、研究倫理、文献検索）

## 6. 初年次・学部学生を対象とした組織学実習・演習への教育参加

### 注意：

- 実習内容は Webclass にポートフォリオとして記録し、教員が評価・フィードバックを行う。
- 実習室では顕微鏡・標本・デジタルデータを適切に取り扱い、器具管理および情報管理を徹底すること。
- 実習中は時間厳守とし、医学教育の場にふさわしい態度・身だしなみを遵守すること。
- 研究データは講座内指定 PC を用いて解析を行い、無断持ち出しを禁止する。
- 本実習は少人数制とし、学修意欲の高い学生を対象に実施する。
- 内容を教員が評価し、随時フィードバックする。

### ・ディプロマ・ポリシーとこの科目の関連

1. 医療倫理；全人的人間性をもち、社会正義と患者の福祉を最優先とする「誠の人間」として、常に自己研鑽に努め、臨床医として最新かつ最善の医療を地域にもたらし、研究医として人類の福祉に貢献する姿勢を示すことができること。	○
2. プロフェッショナリズム；豊かな教養と幅広い知識、優れた技術、「誠の人間たる」態度を身につける必要があることを理解し、日々研鑽を続ける責務と後進育成の使命を自覚すること。	○
3. 医療安全；安全な医療を提供し続けるために、感染対策、医療安全管理に対する知恵を身につけ、自己の身体的および精神的健康にも気を配りつつ、医療の質の向上に努めることができること。	
4. 医学的知識；初期臨床研修医あるいは研究医としての業務を行うために必要な基礎生命科学、臨床医学、行動科学、社会医学および医学英語の、知識と科学的思考方法を有しており、疾患の予防、診断と治療、あるいは研究に活用できること。	○
5. 診療技術・患者ケア；的確な医療情報を収集し、それをもとに適確な診断を下し、プライマリケアを実践して記録する、という基本的な課程を「誠の医師」として患者に真摯に向き合っておこなえること。	
6. コミュニケーションとチーム医療；「誠の人間」にふさわしい謙虚さを身につけ、患者やその家族および医療従事者間で、互いの立場を尊重した関係を構築することができること。	○
7. 医療の社会性；「厚生済民」の建学の精神に基づき、社会保障制度および法律に関する知識を修得し、国内外の保健医療に貢献する意志を有すること。	
8. 地域医療；本学は医療の偏在化を是正するために作られた医育機関であることをわきまえ、地域の特性を理解し、地域のニーズに配慮した診療や予防医学、あるいは災害医療に貢献するという将来ビジョンを描き、地域医療で果たすべき責任を自覚していること。	

・評価事項とその方法

組織観察レポート、研究参加報告、教育参加評価、ポートフォリオを含め複合的に評価する（100%）。

学修事項	DP	ポートフォリオ	レポート	研究参加発表	教育参加評価	合計
1-6	1, 2, 4, 6	20	30	30	20	100
合計		20	30	30	20	100

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
実習	光学顕微鏡	1	組織標本の観察
実習	ノート型パソコン	1	バーチャルスライド・画像解析
実習	LCD プロジェクタ	1	解説・ディスカッション
実習	プリンタ	1	資料作成・配布